

物流博物館

NEWS VOL. 7

2004年4月1日発行

ホームページをリニューアルしました!



物流博物館について

団体見学用のページを作成しました。

「見学の手引き」「ワークシート」「見学事例集」などを掲載し、社会科見学の参考になるよう充実させました。

イベント情報

特別展や映画会、夏休みの体験講座、ターミナル見学会等催し物の案内です。

利用案内

物流博物館へのアクセス

展示内容

天秤棒など昔の運ぶ道具を担いでみる体験の案内です。

はこぶをきわめる(体験)

物流のさまざま

館蔵の鉄道錦絵や昔のトラックの写真などを紹介しています。

収蔵資料

物流よくある質問箱

調べ学習に役立つ「おやくだちリンク集」を作りました。

物流リンク集



物流博物館のマスコットキャラクター「カーゴ君」です。

今まで頂いたご質問の中からよくある質問についてまとめてみました。回答と、より詳しいサイトについて紹介しています。

005111

1998年8月の開館当初から物流博物館ではホームページを開設していましたが、さらに、使いやすい、見やすいホームページをめざして、大幅にリニューアルしました。物流博物館のマスコットキャラクターであるカーゴ君がトップページでお出迎えする形は今までどおりですが、「物流よくある質問箱」、「はこぶをきわめる(体験)」などのコンテンツを増やし、「物流リンク集」では物流に関することが調べられる子供向けのホームページも紹介、「収蔵資料」には当館所蔵の鉄道錦絵や昔の物流写真を掲載し、今後少しずつ増やしていく予定です (<http://www.lmuse.or.jp/>)。

2004年 特別展

わら
木と竹と藁の荷造り

—昔の荷物たちが語ること—



柿の木箱や陶磁器のわら荷造りなど

4月24日(土)から、2004年度の特別展示「木と竹と藁(わら)の荷造り—昔の荷物たちが語ること—」(会期：4月24日(土)～6月20日(日))と題した展覧会が始まります。

半世紀前の荷物は、今とはかなり違った姿をしていました。現在ではほとんど見かけなくなった、木箱や柿、竹カゴ、ワラ荷造りといった自然素材を使った梱包や、これらの荷物をめぐる諸事情について、実際の荷物、復元資料、写真、製作工程の映像などで紹介します。

今は展示準備作業が大詰めを迎えています。



ブドウの竹カゴ荷造り

2003年度 物流博物館カレンダー

○4月26日～6月15日

企画展「宅扱～昭和はじめの宅配便」916名

昭和のはじめ頃に存在した「宅扱(たくあつかい)」という鉄道貨物輸送制度を紹介しました。展示終了後も2階廊下と図書コーナーにダイジェスト版を展示しました。



2階図書コーナー入口

○6月14日～10月18日 隔週土曜日

古文書講座～交通・物流の史料を読む～延べ228名
講師 交通史研究会会長 増田廣實先生(全8回)

江戸時代から明治時代初頭までの交通や物流に関する史料を購読しました。

○7月～3月の第2日曜日

東京産業考古学会主催 産業技術映像上映会
延べ115名(2月まで)

毎月、「橋」・「重量品」・「鉄」・「船」・「自動車」などのテーマに基づき産業技術映像の上映会を行いました。

○8月8日

博物館体験ツアー 台風接近のため中止
物流博物館のバックヤードの見学と引越し作業体験

○8月13日

小学生バス見学会 40名
港や空港などの物流ターミナルを見学しました。

○8月21・22日

美術品梱包講座入門編

講師 日通美術品事業部 松木弘先生 延べ75名
陶器の壺や置物を特殊な材料を使って包みました。

○8月24日

ダンボール工作教室 54名

鉄道の機関車をダンボールで作りました。

○11月15日

品川区児童館のお祭り「ファミバラ」に参加

○11月29日～隔週土曜日

高輪伝馬の会(古文書学習会)延べ43名(2月まで)

古文書講座から発足した自主的な勉強サークルです。

○12月20・21日

サンタクロース映画会 69名

プレゼントを運ぶサンタにちなんだ映画を上映。

○1月28日～2月24日

ロジスティクスセミナー 日本通運株式会社共催

23講座 延べ1190名

○2月28日・3月27日～

古文書講座～交通・物流の史料を読む～

講師 交通史研究会会長 増田廣實先生

最新ニュース.....

○飛脚の変身キットを作成しました。

江戸時代に運輸の仕事をした飛脚。飛脚にも種類がありますが、なかでも町人たちによって営業されていた「定飛脚」の衣装を体験用に作成しました。飛脚が必ず着けていた「胸当て」、旅姿に欠かせない「手甲・脚半」「菅笠」、護身用の刀「道中差」など実際に試着することができます。

○昔の物流映画を上映しています。

催し物や団体見学が入っていない日は、昭和30年代から50年代にかけて製作された日本通運のPR映画を上映します。大阪万博の輸送をとりあげた「花開く日本万国博」や昭和24年の「ものの流れ」など8本。

○産業技術映像上映会

2004年度も引き続き産業技術映像の上映会を行います。

日時：7月以降の毎月第2日曜日 午後1時半～

主催：東京産業考古学会 料金：入館料200円

2003年度の団体入館者データ

小学校・中学校ともに昨年度より増加しました。

上半期(4月～9月)

小学校 6校 216名 中学校 24校 145名

その他学校 8校 143名 一般団体 20団体 355名

下半期(10月～3月)

小学校 33校 2226名 中学校 9校 577名

その他学校 7校 307名 一般団体 13団体 241名

団体人数合計 4214名

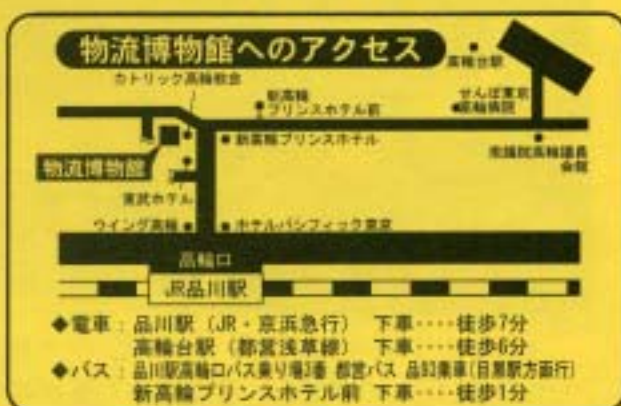
2003年度全体入館者数 8200名(推計)

物流博物館について

所在地 〒108-0074 東京都港区高輪4-7-15

Tel 03-3280-1616 Fax 03-3280-4385

http://www.lmuse.or.jp



開館時間 午前10時～午後5時

休館日 毎週月曜日(但し月曜日が祝日・振替休日の場合はその翌日)

毎月第4火曜日、祝日の翌日(土日を除く)

年末年始(12月28日～1月4日)

入館料 小中学生：100円(土曜日無料・23区内小学生は申し出で全日無料)

高校生以上：200円

※学校関係の団体は入館料が免除になります

物流博物館の近隣紹介

ユニセフハウス

物流博物館から歩いて2～3分というご近所に(財)日本ユニセフ協会があり、建物(ユニセフハウス)にはユニセフの情報発信や子どもたちの学習施設として、展示スペースが設置されています。1Fにあるシアターではユニセフの歴史や活動を紹介した映像を見ることができ、2Fの「開発途上国の保健センター」「ユニセフの支援する教室」「難民キャンプ」などのコーナーには実際に使われている支援物資が展示されています。水くみの大変さを本物の水がめを持つことにより体験できたり、戦争や災害のため学校で勉強できなくても、どこでも勉強ができるように、80人の子どもと先生のための勉強道具が入っている「箱の中の学校(School in a Box)」を見ることができます。ボランティアの方の丁寧な説明は興味深く、ぜひお勧めです。見学には事前予約が必要です。



◎日本ユニセフ協会
ネパールの水がめ。
水を入れると重さ15kg。



◎日本ユニセフ協会
ユニセフハウス外観

ユニセフハウス

開館日時：月曜日～金曜日、第2・第4土曜日
10:00から18:00

見学申込：電話にて要予約。
ボランティアスタッフによる展示説明があります。

学校関係→学校事業部 03(5789)2014

一般団体→協力事業部 03(5789)2012

住所：〒108-8607 東京都港区高輪4-6-12

URL：http://www.unicef.or.jp